

vol.15
議会広報委員が市内の注目スポットを取材!!
議員ふじさん歩
今回の取材担当:吉川 隆之

現総代の杉山さん、鍋田さんに案内していただきました



奉納相撲の様子

“天間”の由来となった
天満宮



地域住民から天神さんと呼ばれ親しまれている天間の天満宮は、「天間」という地名の由来になったと言われています。

創建年代は不明なものの、棟札には安永2年(1773年)遷宮と記されており、それ以前から存在していたと思われます。

境内には水神社が祀られ、地区では数少ない湧き水が出ている場所で、清閑な雰囲気があります。また、愛鷹山をめぐる地域にしかない愛鷹神社や、菅原道真公にちなみ奉納されたといわれる牛の像などもあり、古来、住民の信仰を集めてきました。

祭祀では江戸時代から相撲興行が行われていたためか、市内ではめずらしく隣接する児童遊園に土俵があり、現在も子供たちによる奉納相撲が毎年開催されています。

議会にひと言

今回は、富士保健所で医監兼保健所長を務める鉄治さんに新型コロナウイルス感染症対応についてお聞きしました。(インタビュアー:井上 保)

本市の感染状況は関東圏の状況に左右される傾向にあり、第5波では主に家庭内感染で幅広い年齢層に拡大したと感じています。

そのような中、市立中央病院と共立蒲原総合病院における感染症患者の積極的な受入れと、保健所応援のための市職員派遣には大変感謝しています。

ピーク時には、処理能力の限界を超え、情報提供の遅れを指摘する声もありましたが、システム改修により改善を図っています。今後は自宅療養者への支援や業務代行等に対する富士市のさらなる協力にも期待しています。

富士市議会には、引き続き感染予防の徹底と陽性者へ誹謗中傷が起きないよう啓発活動を行うことや、外国人技能実習生への情報提供など、外国人市民を取り残さない施策への後押しをお願いします。



議会 vol.15
ヒストリー
富士市のシンボル、市庁舎建設(昭和45年)

昭和41年11月の2市1町合併による新富士市発足後、市庁舎建設に向けた動きを受け、市議会では最初の臨時会で庁舎建設特別委員会を設置しました。しかし、庁舎用地の取得が容易に進まなかったことから、財団法人富士市開発公社に地権者との折衝等を委託することになりました。その後、用地取得が進まない原因が税金問題と分かり、市が静岡県知事と交渉。県知事の「庁舎建設事業認定許可」を得て課税措置の特例が適用となり、結果、地権者との交渉は一転成立し、昭和42年10月臨時会にて用地取得の議案が可決されました。

昭和43年12月の着工から、工事期間15か月、総工事費22億2745万円をかけ、昭和45年3月、ついに新富士市の顔となる市庁舎が完成しました。(担当:井出晴美)

編集後記

11月定例会では、感染症対策を行いつつ、徐々に通常に近い形で議会運営がされ、一般質問においても熱い議論が交わされました。

中でも、本市の最上位計画である第六次富士市総合計画の策定については、総合計画審査特別委員会を設け、慎重に審査し可決しました。本市の目指す都市像「富士山とともに 輝く未来を拓くまち ふじ」の実現に向け、議会としましても、市民の皆様とともにしっかり取り組んでまいります。(佐野智昭)

次回定例会予告

2月定例会は、2月15日から3月23日まで開催され、令和4年度予算の審議及び市長施政方針に対する質問等が行われる予定です。

発行
富士市議会
編集
議会広報委員会
静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)
ウェブサイト
富士市議会 検索